(18)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)实用新案出額公開番号

実開平5-79537

(43)公開日 平成5年(1993)10月29日

(51)Int.CL*		識別記号	厅内整理曲号	FI	技術表示拨折
G 0 2 F	1/1335	5 3 O	7811-2K		
C 0 2 B	5/02	С	9224-2K		
	6/00	3 3 1	6920-2K		
# F 2 1 V	8/00	D	2113-3K		

審査請求 未請求 請求項の数7(全 3 頁)

121)出職番号	実确平4-24601	(71)出職人	000208765
		!	株式会社エンプラス
(22)出顧日	平成 4年(1992) 3 月25日		埼玉県川口市並木2丁目30番1号
		(72)考案者	横山 和明
		i	埼玉県川口市並木2丁目30番1号 株式会
	•		社エンプラス内
		(74)代理人	并理士 向 克二

(54) 【考案の名称】 面光鄰接置

·37) 【要約】

【目的】 本等案の目的は、附るく輝度分布の均一 た、薄光体を用いた面光が装置を提供することにある。 【構成】 本等案の面光額装置は、導光体の発生面測 に対画する側に球面状等に凹部又は凸部を形成しその大 ささを変化させることによってその目的を達成するこう にした。



[集时新案整鉄譜水乃範囲]

【請求項1】 直線状の光源と、前記光線に入射端面を 近接させ能置した時光体と、前記等光体の発光面側に配 置した紅酸板と、前記導光体の前記発光面側と対向する 側に設けた反射面とを備えた面光距振費において、前記 専光体の前記発光値側と対向する側の面に光脈側が小さ 上た続より離れるにつれて大になる縁面状の凹部又は凸 部を多数動けたことを特徴とする面光原装置。

【精末項2】 適級状の大勝と、前記主族に入財場面を 近接させ配置した専用体と、前記専用体の発光面側に配 置した実施板と、前記専用等の前記発光面側と対向する 例に設けた反射面とを備すた前光盤装置において、前記 減去体の前記を光面側と判向する例の面に光隙側が少さ く光解より離れるにつれて大になる円柱又は再柱状の側 部では円部を多数設けたことを特徴とする面光深凝微。

【請求項3】 前記司程又は角柱状の即部の最深部又は 凸部の先端面が曲面をなす請求項をの能光額装置。

【摘取項本】 適額状の光線と、前記光線に入射線面を 近接させ配置した導光体と、前記等光体の発光面側に配 置した試散板と、前定等光体の前記発光面側と対向する 側に設けた反射面とを衝えた面光線装置に対いて、前記 増光体の前記を光面側と対向する側の面に多数の曲率下 益文は接合、あるいは曲半半径及び深きが同一の新面状 例形または凸部を形式し数関部内面または凸部外面を料 きず光原側が細かした成より離れるにつれて程くなる料 頭としたことを特徴とする面光線装置。

【請求項5】 直線状の共源と、前記寺源に入射端面を 2 近渡させ配復した海光体と、前記海光体の発光地側に配 3 路した総数板と、前記海光体の前記発光地側と対向する 4 研に数にた反射値とを備えた面光像装置において、前記 40 5 遅光体の前記を光面と対向する側の面に断面積又は深さ *

未或いは原面積及び係さが同一の多数の円柱又は角柱状態 部または樹面積又は高さ或いは脚面積及び高さが同一で ある凸部を形成し該回部内面または凸部外面を粗さが光 原側で細かく光膜より離れるにつれて粗くなる粗面とし たことを特徴とする面光酸緩慢。

【請求項6】 前記多数の関係の全ての内面または多数の当所の全ての外面を全部同一の報告の相面としたことを特徴とする請求項で、2、又は3ののでれたの面元額 数置。

10 【請求項7】 前記四部の内面または凸部の外面を払さ が未要型で知かく主席より難れるにつれ粗くなる粗面と したことを特徴とする請求項1、2次は3のいずれかの 面充英装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 木考案の実施例の斯面図

【図4】 本考知の第1の実施例で用いる構光体の断

死。

【6.3】 本書楽、第270末施側で用いる導光体で断

面压

(9 【図4】 土考定の第三の実施例で用いる場光体の概

in t-1

【回り】 よ考案の第4の実施例で用いる構光体の断

ili isi

【四七】 「従来の導光体を用いた面光療装置の影面図 【初号の説明】

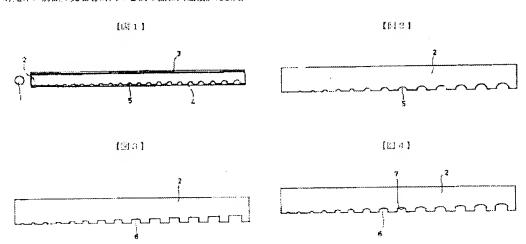
先奪

2 解消体

3 拡胀接

· 以射mi

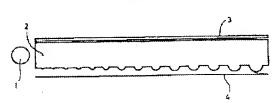
o 5 mas



(3)

※翻平5ー79587

[國5]





[ixi 5]

;

.